

表 輸送手段別GHG排出量の内訳と、連邦政府による排出量削減目標、その他関連措置

輸送手段	GHG排出量の内訳	連邦政府による排出量削減目標、その他関連措置
ライトビークル	49%	・2030年までに、販売される新車の50%をZEVとする。内燃エンジンの新車が可能な限り効率的であることを保証する。 ・2030年までに、EV充電器を50万台導入する。 ・2027年までに、連邦政府が調達するフリート車両の100%をゼロエミッションにすることを保証する。
中型・大型トラック およびバス	21%	・2030年までに、販売される新車の30%、2040年までに100%をZEVとすることを旨とする。 ・2035年までに、連邦政府が調達するフリート車両の100%をZEVとすることを保証する。
オフロード車	10%	・具体的な目標設定に取り組む。 ・リソースを集中させ、テクノロジーの道筋を開発し、効率性とゼロエミッションの車両および機器の目標を設定する。
鉄道	2%	・具体的な目標設定に取り組む。 ・リソースを集中させ、テクノロジーの道筋を開発し、効率性とゼロエミッションの車両および機器の目標を設定する。 ・道路車両からの排出量を削減するため、旅客および貨物輸送の利用拡大を奨励する。
船舶	3%	・2030年までに、世界の深海艦隊(deep-sea fleet)の5%がゼロエミッション燃料を使用できるように、引き続き、ゼロエミッション船ミッション(ZESM)の目標を支援する、など。 ・持続可能な燃料と技術の研究開発をさらに実施することで、米国の国内海事部門を支援するとともに、米国の商船運航者に対する、GHG排出量の削減に向けた取り組みを奨励する。 ・国際海事機関の加盟国と協力し、2050年までに国際海運分野のゼロエミッションを達成するという目標を採用する。
航空	11%	・2030年までに、航空分野の排出量を、現行比で20%削減する。 ・2050年までに、航空分野のGHG排出量をネットゼロとする。 ・2030年までに年間少なくとも30億ガロン、2050年までに約350億ガロンの持続可能な航空燃料の生産を促進する。
パイプライン	4%	・具体的な目標設定に取り組む。 ・2036年までに、1,000マイル分のリスクが高く、漏れが発生しやすい、コミュニティ所有の古いガスパイプラインを修理または交換し、暫定1,000トンのメタンの排出量を削減させる。 ・漏洩を減らし、クリーンで持続可能な燃料のパイプラインの使用を可能にする。
全輸送手段	100%	2050年までに80~100%のGHG排出量を削減する。

(出所)「輸送の脱炭素化に関する米国の青写真」からジェトロ作成